

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（仕入 担当）	来客数の動き	・愛知万博の影響で外国人客もあり、来客数は前年比110%で、売上も増加している。昨年は消費税総額表示の準備作業で4月1日に休業し、営業日数が少なかったことも影響している。
		観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・愛知万博の特需に支えられて宿泊、宴会、レストラン等すべてにわたって好調である。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・愛知万博需要で宿泊稼働率は高く、その影響でレストランも売上が大きく伸びている。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	販売量の動き	・先月に引き続き愛知万博特需で人出は多く、販売量も増加している。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・販売量は微増ながら増加傾向にあり、売上も若干増加してきている。
		一般小売店〔土 産〕（経営者）	来客数の動き	・愛知万博や中部国際空港との競合によるマイナスを懸念していたが、現在のところはプラス効果が出ている。購入単価も低下していない。
		一般小売店〔土 産〕（経営者）	販売量の動き	・相変わらず単価は低い、客が商品を買おうとしているのがわかる。以前は買わない理由を探していたのが、今は買う理由を見つけるために店員に確認しているように感じるようになった。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	販売量の動き	・比較的需要の少ない時期であるが、売上はわずかながら伸びている。
		百貨店（売場主 任）	販売量の動き	・3月に専門店の新館がオープンし、客の動員が良く、全館でも非常に好調である。新館は客の買い回りを考慮してゆとりのある売場構成にしており、客の滞留時間が長いことが功を奏している。
		百貨店（企画担 当）	販売量の動き	・今シーズンはトレンドのショートジャケットなど高単価アイテムの動きがよく、また早い段階で投入した夏物のTシャツも若い客層によく売れている。目立ったトレンドが無かった昨春と比べてファッション商材の動きは良い。
		百貨店（企画担 当）	販売量の動き	・愛知万博の開催により、駅ターミナルに立地する当店では他県からの来客数が増加し、土産購入などで売上は好調である。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・愛知万博の影響もあり消費意欲の向上がみられる。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・愛知万博の効果で、ソフトドリンクの特需がある。また業務用商品も伸びている。
		コンビニ（売場 担当）	来客数の動き	・愛知万博の影響で来客数が増えている。土産もよく売れている。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・気温が高めに推移しており、エアコンの動きが例年より良くなっている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・自動車業界は例年4月はかなり苦戦する月であるが、今月は順調に売れている。
		その他専門店 〔雑貨〕（店 員）	来客数の動き	・愛知万博効果により消費者マインドの高揚が感じられ、来客数は増加している。
		その他飲食〔仕 出し〕（経営 者）	販売量の動き	・まだばらつきはあるものの、大口の注文が増えている。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・愛知万博関連で来客数が増加している。
		旅行代理店（経 営者）	来客数の動き	・予約時期は依然として遅いが、問い合わせ件数は確実に増えている。
旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの海外渡航は、客が長い休暇を取り7～8日間のツアーがよく売れている。それに伴い、旅行代金も前年比で高額となっている。		
タクシー運転手	お客様の様子	・愛知万博関連の催物がホテルなどでよく開催され、世界各国の来賓や関係者をタクシーで送迎することがある。また万博会場でも夜遅くまで関係者などがタクシーを利用してくれる。		
通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・4月に入ってから新規契約は順調に伸びている。		

	美容室（経営者）	お客様の様子	・最近客から、仕事が忙しいとかレジャーに出掛けるという話をよく聞く。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・アパートの契約件数は減少しているが、店舗、一般建築、工場、事務所などの契約は増加している。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・中部国際空港や愛知万博会場内あるいはその他の場所での愛知万博関連コーナーの売上は良い。しかし、その周辺の既存売店の売上はかなり減少している。全体として、客がただ移動しただけであり、変化はみられない。
	商店街（代表者）	単価の動き	・高額商品が売れるようになっているが、全体としては動きが良いわけではない。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・デジタル家電の販売が思ったように伸びていない。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・周辺では中部国際空港をはじめ大型商業施設の開業や様々な催事があり、客は散っている。また気候も月の前半は低温、後半は高温と極端な気温差があった。来街客は一時的にせよ目に見えて減少しており、売上は伸び悩んでいる。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・近隣に大型アウトレットが開業した影響で非常に多くの来訪者があり、市内観光の客も増え一部の店には少し好影響がある。しかし多くの店では厳しい状況が続いている。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・地元の消費者は愛知万博や東京、大阪など他方面でお金を落としてしている。地元では金を使わず活性化が進まない。
	百貨店（売場主任）	単価の動き	・靴は高額品の売行きがあまり良くないが、2万円前後の安価商品は売れており、全体の売上は変わらない。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・客は愛知万博関連の話題性のある商品は手に取ってみているが、従来の春物定番商品は相変わらず買い控え傾向がある。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・店頭の客の様子をみると、特に悪くも良くもなく、淡々と来店している。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・来客数、販売単価に変化はない。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年比96%前後の推移で、依然として回復の兆しはみられない。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・相変わらず慎重な買い方をする客が多い。
	スーパー（店員）	販売量の動き	・競合店がかなり力を入れており、毎週末チラシを入れている。当店の売上は前年比95%前後である。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数、客単価とも横ばいである。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・気温が上昇している影響で飲料水、ビール、発泡酒を購入する客が増えているが、前年同月比ではアルコール飲料の動きが非常に悪い。酒類免許の規制緩和の影響がある。
	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・低単価商品、割引商品に客が流れている。また買い控えもあり、ここ数か月は前年を下回っている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・週末は行楽客があり前年より動きが良く、売上も良い。その一方で、普段の客が中心の平日の来客数は前年比で減っている。
	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・競合激化により、売上は前年割れが続いている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競合が厳しく固定客も流動化しており、厳しい状況が続いている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・高い気温の割には飲料水の動きはあまり良くない。
衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・衣料品の売上が相変わらず増加しない。タンクトップ、キャミソールなどに動きはあるが、全体の販売量は相変わらず増加していない。	
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・4月も全体的に安売りが続いており、前年割れを起こしている。	
家電量販店（店員）	販売量の動き	・単価は落ち着いている。しかし全体的に販売量が少ない。	
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が少なく、販売量もあまり増加していない。	

乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・販売量は相変わらず少なく、消費マインドも高くないが、良いものを長く使いたいという傾向が強く単価は上昇している。
乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・例年3月の決算月後は来客数は減るが、今月は予想以上に新車目当ての来客数が多い。冷やかしてではなく購入が前提の客が多く、受注率も高い。しかしサービス工場への入庫は減りつつあり、利益は相変わらずとんとんである。
乗用車販売店 (従業員)	競争相手の様子	・全体的な動きは悪くはないが、気候が暖かくなって売れ出したという感じで、実質的にはあまり良い雰囲気ではない。客の話からも、給料が減少したなどあまり良いことは聞かれない。同業者からは、経営が難しいという声も聞く。
自動車備品販売店 (経営者)	それ以外	・今月は洗車用品やワイパーなどの小物がよく売れているが、オーディオ関連など高額商品は低調で、売上は伸びず苦戦している。
住関連専門店 (営業担当)	販売量の動き	・企業の設備投資は増加しているが、公共工事、民間住宅工事は価格競争の激化でマイナスになっている。
高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・4月に入り来客数の減少傾向は止まっている。ただし、名古屋地区が他地区と比較して良いとは言えない。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・来客数が相変わらず減っている。
スナック(経営者)	単価の動き	・月後半は大型連休で消費がレジャーに向かい繁華街の人出は減少している。しかし月前半に歓迎会等で客を呼び込めたため売上は昨年より若干ながら伸びている。
スナック(経営者)	来客数の動き	・4月は歓送迎会が例年並みにあり、ゴールデンウィーク前でもそれ程落ち込んでいない。
都市型ホテル (支配人)	お客様の様子	・愛知万博のおかげで宿泊は9月まで好調である。しかしレストランの利用は特に宴会受注が芳しくない。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・歓迎会などの宴会利用では少人数の傾向が強くなっている。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・愛知万博で他地域からの来客数は増加しているが、この地域の客の動きは逆に悪い。愛知万博によって旅行の動きは鈍っている。
旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・大型ショッピングセンター内に店出しているが、愛知万博、中部国際空港や最近出来た大型商業施設などに客を取られ、当店への来客数にも影響が出ている。
タクシー運転手	来客数の動き	・愛知万博が始まっているが、タクシーを利用しない団体外国人の姿を街中で見かけるだけで、万博景気はない。普段の客も以前と変わらない。
タクシー運転手	お客様の様子	・昼間の客も夜の客もタクシー代を節約する傾向が続いている。
通信会社(営業担当)	競争相手の様子	・新サービスが始まっているが、今までの利益は望めない。
テーマパーク (総務担当)	来客数の動き	・愛知万博客の呼び込みはあまり期待できない状況にある。
ゴルフ場(経営者)	競争相手の様子	・料金を格安にすると来場者数は増え、そうでない場合は減少している。愛知県全体のゴルフ場来場者数は横ばいで推移している。
ゴルフ場(営業担当)	お客様の様子	・例年ゴルフのベストシーズンになると、会員権の買いが増えて相場が上がり勢いが出てくる。しかし今年は4月に入っても購入の引き合いが少なく、問い合わせも激減している。先月同様に動きが少なく厳しい状況にある。
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・4月も前年に近い入場者数がある。入場者数はここ数か月横ばいであるが、今年に入ってから予算入場者数は確保している。
パチンコ店(店長)	来客数の動き	・来客数、客単価ともあまり変動はない。
美顔美容室(経営者)	来客数の動き	・今年に入り来客数にはさほど変化がない。春休みが終わってからも落ち着いている。
住宅販売会社 (企画担当)	来客数の動き	・毎月ある程度決まった量のダイレクトメールを送っているが、今月も来客数に変化はない。

やや悪くなっている	一般小売店〔電気屋〕（経営者）	来客数の動き	・最近来客数が極端に減少している。客は余裕があり買う気がなければ店に来ないが、余裕を失っているようである。	
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・衣料品の動きは今月に入り苦戦しており、特にミセスの婦人服、紳士服の回復がみられない。また、来客数も回復していない。	
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・若年向け婦人服を除き、売上は全体的に軟調である。来客数は微減で、客単価も低下している。	
	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・先月に引き続き、土日、祝日はもちろん平日も来客数が大幅に減っている。それに伴い売上は前年を大きく割り込んでいる。	
	スーパー（店長）	お客様の様子	・名古屋は景気が良いと言われているが、消費者は愛知万博や中部国際空港に目が向いており、物販では食品しか売れていない状況である。	
	スーパー（店員）	販売量の動き	・行楽に伴う商品はよく動いているが、日常商品は安い物に流れている。	
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・客単価や1人当たり買上個数は前年並みだが、来客数の減少が響き売上は減少している。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少に加え、その他の様々な要因が影響して低迷している。	
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・今月は新型車、限定車などの動きが少なく、来客数の動きが鈍い。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・昨年4月は販売台数が大きく低迷していたため、今月の前年比での実績は改善しているが、計画目標に対しては大きな離れが生じている。春先からゴールデンウィークにかけて、客の関心がレジャーやイベントに向いていることが影響している。	
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・中部国際空港、愛知万博の他にも新しい大型商業施設が近隣に次々と出来たため、客はそちらに流れてお金を使っている。	
	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・当地のリゾートホテルでは、愛知万博の会場から車で2時間かかるため、万博の波及効果はない。昨年の浜名湖花博開催の反動もあり、宿泊客数は減少傾向にある。	
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・愛知万博とゴールデンウィークを控えて来客数が伸びることを期待していたが、それほどでもない。万博の人気もいまひとつである。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・愛知万博や花フェスタの影響もあり、入園者数は厳しい状況である。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。特に子供の来客数が減少している。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・かつては美容院で髪を染めていた客が、2回に1回は市販のヘアカラー剤を買って自分で染めているため、来客数に影響が出ている。	
	設計事務所（営業担当）	競争相手の様子	・受注がほとんどない。	
	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・競合他社の販売量がかなり減少している。	
	悪くなっている	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が減っているだけでなく、買い控えムードもみられる。
		その他サービス〔珠算塾〕（経営者）	お客様の様子	・親は子供になんでも習わせるというのではなく、今後必要と思う習い事に絞り込んでいる。
企業動向関連	良く なっている			
	やや良く なっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークを控えて、食品関係の受注が増えている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・石油製品価格の高騰分を受注量、販売量でカバーできている。
		一般機械器具製造業（販売担当）	競争相手の様子	・競争相手が盛んに海外へ生産拡大している。また競争相手を含む業界全体の受注額は昨年から伸び続けている。

	電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・縫製機器は今までアパレル関連の落ち込みを自動車関連がカバーする状況であったが、アパレル関連も中国のクォーター制廃止の影響が落ち着き先が見えてきており、設備投資の引き合いが多い。受注残が継続的に発生している。
	電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・4月に入って受注量は急増している。各社が3月に在庫調整したため適正在庫量を割り込んだと推測できる。納期短縮の依頼が多いため対応に追われている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元大手自動車メーカー系を中心に、受注機会はかなり増加している。
	金融業（従業員）	受注量や販売量の動き	・愛知県では、例年に比べて節税対策の保険商品にまとまった支出をする企業が増えている。
	広告代理店（経理担当者）	受注量や販売量の動き	・取引をしばらく見合わせていた客から受注できている。新規の取引先もある。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・中小企業でも本業以外の事業や不採算店舗などを整理し採算部門の強化に集中しており、業績は上向きつつある。
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・売上の伸びている顧問先が増えている。固定資産の買い替えや新規雇用も発生しており、景気は確実に上向いている。
	その他非製造業【ソフト開発】（経営者）	取引先の様子	・中国での事件もあり、企業の中国向け設備投資は少し慎重になっている。ただし中国以外の海外向けの引き合いは相変わらず活発に動いている。国内に関しては急激な変化は生じていない。
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・納入業者との値上げ交渉は長引く傾向にある。また、取引業者がフル操業で納期遅延が多々ある一方で、客からの注文は短納期である。そのため、納期が厳しく製造ラインは神経質になっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は横ばい状況にある。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は、映写機関連は3か月前とほぼ同レベルであるが前年同期比では新規需要に減少傾向がみられる。一方、監視カメラ関連は市場の堅調さからやや増加となっている。
	輸送用機械器具製造業（統括）	取引先の様子	・主力取引先は再建中で受注量が減少しており、単価引き下げ要求も厳しい。数量の増加も当面見込めない。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・荷動き、トラックへの積み込み台数などにはほとんど変化はない。愛知万博関連は、祭りの山車の運搬等が出ている。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・住宅ローンが好調である。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・様々な企画を提案しても企業側はなかなか乗ってこない。足踏み状態である。
やや悪くなっている	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼メーカーが決算対策で3月末に一時的に出荷量を増やしたため一部で鋼材在庫が増加し、買い控えが続いている。
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・取引先同士で金銭的なトラブルが続発しているなど、いやな話をよく聞く。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前は例年かなりの荷動きがあるが、今年は大型連休にもかかわらず出荷時期が遅く、物量も少ない。天候不順のためか例年に比べて荷動きが低調である。
	行政書士	受注量や販売量の動き	・燃料の価格高騰が関与先の運送会社などに影響している。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・宅地開発の関連の集客は良くない。
悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同期と比べて売上は34%の減収で、経常利益も大幅減益である。
	非鉄金属製品製造業【鋳物】（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量の減少傾向が続いている。加えて原材料価格の高騰とその販売価格への転嫁が容易に出来ないことも続いているため、売上、利益は引き続き減少している。
雇用関連	良く なっている		

やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・愛知万博関連の需要が一息ついて、新規需要が減少してきている。しかし万博以外の需要は増加傾向にあり好調である。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・例年なら求人求職者の動きが一段落する時期であるが、引き続き好調な製造業をはじめとして、求人募集広告は減少していない。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・例年なら年度末から年度始めにかけては求人数はいったん落ち込むが、今年は高位で安定している。中堅、中小企業からの求人も増加している。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は相変わらず高水準にある。各社とも派遣での求人を求めている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・3か月前と比べて派遣求職者の応募が増加している。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・県内の求人は変わらず好調に推移している。しかし求職が追いつかず、人手不足の状態が続いている。特に販売系と専門技術者の不足が顕著である。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・3か月前と同様に、パート、アルバイトや請負業等を中心に求人は依然好調である。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・雇用保険の受給資格者が減少し、求職者も減少している。しかし在職中で転職を希望する者は増加傾向にある。
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・有効求人倍率は1倍を超えて推移しているが、パート、派遣、請負などの非正規社員の求人が多い。
	職業安定所（管理部門担当）	雇用形態の様子	・常用雇用の求人は横ばいである。パート求人が依然として多い。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・当地区の有効求人倍率は2か月連続で低下し、5か月ぶりに1.3倍を下回っている。有効求人数も2年4か月ぶりに前年同月を下回っている。
悪くなっている	-	-	-